

福島県北森林組合だより



新年のご挨拶

福島県北森林組合 代表理事組合長 菅野 厚

新年明けましておめでとうございます。

当組合の業務に対しご理解とご支援を賜り心から感謝を申し上げます。

令和3年12月、福島市松川町に新事務所が竣工し業務を開始して1年が過ぎました。これからの時代の森林組合事務所として、鉄骨を使用しない木造建築をコンセプトに、地産地消を目指して県北管内の木材をふんだんに使った木造2階建てとしました。内装は木質化を積極的に行い、柱や梁にはスギの集成材を活用したことで、木の魅力やぬくもりを感じられる施設となっております。地元小学校の森林教室、福島大学農学群食農学類との交流も着実に進み、若い世代の森林への理解を進めることで、森林・林業の情報発信を実践するという事務所建築の目的の一つを達成することができました。今後も継続し地域林業の発展に寄与していきたいと考えています。

令和2年に輸入木材価格高騰を意味する「ウッドショック」という言葉が話題になりました。原因は、新型コロナウイルス感染症の発生による木材生産及び流通に関する人材と物流に使用するコンテナの不足、それに加えアメリカの住宅ローン引き下げ政策による住宅建築と改築の増加に伴う木材需要の増加が重なった結果と言われています。当初は、木材価格が一時的に高騰し我々も期待しましたが、令和3年2月頃をピークに落ち着きつつあり、我々山林所有者までの好影響はありませんでした。

昨今は、東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場である国立競技場をはじめ、福島市大笹生にオープンした「道の駅ふくしま」などでも木材が使用されていることはご存じのとおりです。また、昨年5月には(株)大林組が神奈川県庁近くに純木造耐火建築物として国内最高となる高さ44m（11階建て）の高層ビルを完成させました。8月には、東京海上日動火災保険新本館ビルの建築基本設計が発表され、東京丸の内に20階建て高層木造建築が予定されています。これらは、林業界にとって木材の利用拡大の大きな励みになるものです。

昨年は新型コロナウイルス感染症が続くなか、ロシアによるウクライナ侵攻が始まるなど混乱の多い年でした。当組合の業務も、資材と燃料の高騰による影響を受けましたが、事業は当初計画通り推移しています。

本年は組合の原点を再認識し、行政機関と業界の連携を一層強化し、存在価値を更に高められるように努力します。新規事業にも果敢に取り組みます。また、職員のセミナー参加、資格取得を積極的に推し進めるとともに、毎月開催している職員研修会を充実して、知識と技術のレベルアップを目指し、新しい時代に対応出来るように努めてまいります。組合員の皆様の負託に応え、地域森林整備の推進役として職員一同取り組んでまいります。今後とも皆様のご指導、ご協力をお願いしますとともに素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とします。

地域の森林再生に向けた取り組み

森林経営管理制度

森林経営管理制度とは、経営管理（間伐や下刈等の手入れ）が行き届いていない森林や放置されている森林を森林所有者の代わりに市町村が経営管理を行う制度です。この制度にかかる業務を、当組合は管内の市町村から受託しています。森林の現況や所有者名等の森林情報を取りまとめる業務と、その情報を基に、所有者の森林管理に関する意向調査業務を行っています。また、福島市の一部地域においては、現地調査及び周囲測量等の実施、更に所有者の現地立会いのもと境界を明確にする業務も行っています。

今後は意向調査等に対し、組合員の皆様のご理解、ご協力よろしくお願ひします。



広葉樹林再生事業



令和3年度 事業実施箇所
(二本松市伊佐沼地区)

広葉樹林再生事業は、原発事故の影響で伐採されていない広葉樹林において、山林の更新を行うため、伐採し、萌芽整理を行う事業です。

将来的に原木・薪炭などに利用できる状態の山へと導いていきます。

広葉樹林を再生していくため、今年度は市町村が主体となり、二本松市戸沢地区にて約14ha、伊達市大石地区にて約3ha、川俣町小綱木地区で約2haの山林を整備します。

二本松地区においては、地域の林業経験のある農家の方々に、農閑期である冬場の仕事として作業をしてもらうという新たな取り組みも行っています。

今後も地域の活性化に向けた取り組みを継続して参ります。

当組合が指定管理者となっている

水林自然林と半田山自然公園のフォトコンテスト(福島県北森林組合主催)を開催しました。



第10回福島市水林自然林フォトコンテスト

「水林、未来に伝える風景」をテーマとし、応募総数87点の中から最優秀賞ほか入賞作品8点を選出しました。また、10回目のフォトコンテスト開催を記念して、福島市写真美術館にて、過去10回分の最優秀賞、優秀賞の作品30点を展示し、水林自然林の良さを、写真を通して鑑賞してもらいました。

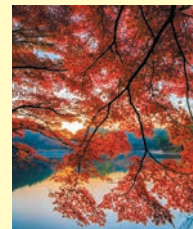


最優秀賞
「緑の声」



第1回桑折町半田山フォトコンテスト2022

「半田山～秋の景色～」をテーマとして、写真の部では103点、インスタグラムの部には145点の応募があり、厳正なる審査の末、入賞作品が決定しました。入賞作品は、1月以降に旧伊達郡役所、4月以降に半田山自然公園管理センターにて展示しますのでご覧下さい。



写真の部 最優秀賞
「黎明」



インスタグラムの部
最優秀賞

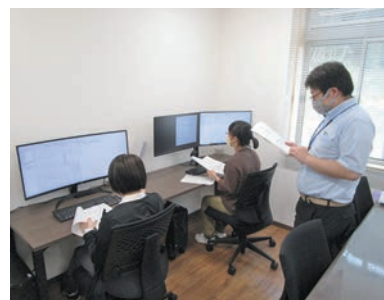
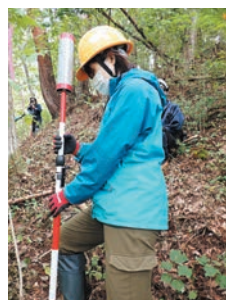
森林施業プランナーが増えました

山林を管理するには適期手入れが必要ですが、山林の状況に合った管理・整備を個人で行うには時間的・費用的に難しい時代です。このような状況を改善するため、所有者へ施業計画を提案して、複数の山林をまとめて手入れするのが「提案型集約化施業」です。この施業計画を提案するのが「森林施業プランナー」ですが、現在、当組合では5名のプランナーが在籍しており、新年度には新たに2名のプランナーが認定されます。今後、組合員の皆様の山林の集約化を進め、より良い施業提案を行えるよう日々精進します。

活動報告について

インターン生を受け入れました

福島大学農学群食農学類の学生2名をインターン生として受け入れました。作業現場の見学、測量器具等を使用しながら測量・調査業務を体験し、図面を作成しました。今後も林業の体験を通して、大学との連携を進めてまいります。



森林・林業学習会を実施しました

松川小学校の5年生の児童を対象とした森林・林業学習会を実施しました。地元の木材を使用した事務所の見学、水林自然林内での間伐作業見学と丸太切りを行いました。

今後も、森林・林業学習会等のイベントを通して、子供たちに森林・林業への興味・関心を持ってもらえるような活動をしていきます。

ツリーイング体験会を開催しました

福島市水林自然林において、『水林で!ツリーイング体験会!』を開催いたしました。ツリーイングとは、専用のロープと安全ベルトを装着して行う木登りです。インストラクターの指導のもと、水林自然林内にある約10mのソネノキを登りました。いつもとは違う視点で水林自然林の自然を体感しました。

参加した皆さんは「楽しかった」、「またやりたい」と喜びました。ツリーイング体験は今後も開催する予定ですので、興味のある方は是非ご参加ください。



森林環境譲与税の取組みについて

「あらかわの森」植樹祭に協力しました

福島市と友好都市である東京都荒川区が合同で開催した、「あらかわの森」植樹ツアーの会場準備・植樹指導を行いました。

この事業は、森林にふれあう機会のない子供たちに、森林の役割について関心を持たせようと開催されたものです。始めに木幡市長(福島市)、古瀬環境清掃部長(荒川区)と参加者代表により八重桜の記念植樹を行い、続いて荒川区からの親子19組と福島市ボーイスカウトの皆さんが、コナラ、ヤマザクラなど5種類の苗木の植樹を行いました。



新職員紹介



タカハシ ケンタ
事業課 高橋 謙太 (26才)

令和5年1月に、福島県北森林組合の職員となりました、福島市出身の高橋謙太です。大学時代は機械工学を学んできました。森林に携わる仕事に就くのは初めての為、これからは、色々な方から森林のことを学び、大学時代に学んだことを仕事に活かして、早く信頼される職員になりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



ムラタ カズシ
事業課 村田 和志 (24才)

令和5年1月に、福島県北森林組合の職員となりました、福島市出身の村田和志です。大学では農学部で樹木の生態や森林管理について学んできました。仕事として森林に携わるのは初めてで、まだまだ分からないことも多いですが、たくさん勉強し1日でも早く皆様のお力になれるよう頑張ります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

組合員の皆様へ お知らせ!



令和5年も引き続き、組合利用支援事業を行います。
組合利用支援事業とは、組合員限定の特別割引制度です。

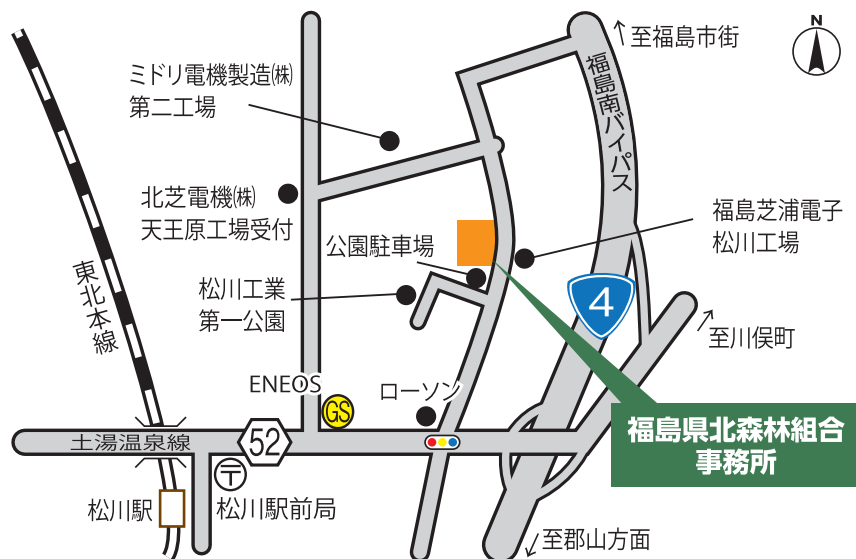
森林組合の購買品が……… ▶▶ **20%割引!**

所有林の間伐、枝打ち、
家の周りの支障木の処理 …… ▶▶ **20%割引!**

皆様のご注文お待ちしております。



事務所案内図



立木賠償支援について

原発事故当時、森林簿において林齢50年以下の広葉樹の山林を所有している方で立木賠償申請の手続きがお済みで無い方は当組合までご相談ください。

◇発行／福島県北森林組合 指導課

〒960-1246 福島市松川町金沢字外手1番3

TEL:024-573-8992 FAX:024-573-8993

mail:jforest@f-kenpokusinrin.or.jp

●組合員数／8,656名 ●払込出資金／183,357千円(令和4年12月末現在)

🔍 福島県北森林組合

検索

<https://f-kenpokusinrin.or.jp/>

